

東久留米稲門会会員	155名
当市在住の校友数	956名
うち早大校友会入会	284名
入会率	29.71%
都内の平均入会率	25.71%
23区の平均入会率	25.72%
三多摩の平均入会率	25.65%
全国の平均入会率	25.06%

(平成11年1月末現在)

東久留米稲門会・会報 杜の西北

1999年3月
第5号

発行 東久留米稲門会

事務局 東京都東久留米市
新川町 1-7-8

電話 0424-76-5432

FAX 0424-76-5430



「早稲田ルネッサンス」——。そういいてもいい、ダイナミックな改革が、いま母校のキャンパスで進んでいます。その先頭に立っている奥島孝康総長は、はっきり「慶応を越える革新」と明言しておられます。その底流、その施策展開はどのようなものか。当稲門会の栄田征子副会長が詳しくお聞きしました。

——早大総長二期目に入られ
大学改革もいよいよ本格化して
いらつしやいます。最初に「グ
ローカル・ユニバーシティ」
の理念についておうかがいた
いと思います。

奥島総長「グローバル」は、
いうまでもなく「グローバル」
と「ローカル」の合成語で、私
の造語なんです。最近アメリ
カでもイギリスでもよく使われ

会報5号・特別企画

建学の原点踏まえて

グローバル・ユニバーシティ創造へ

奥島孝康早大総長、大学改革を語る

るようになりました。

私が考えたことは、私立大学
とは「私の志で立つ大学」であ
り、早稲田大学としては自らの
志を明らかにする必要がある。

また早稲田大学は原点を志向し
て改革を進めねばならない段階
を迎えています。その原点とは
何か、というときに、早稲田大学

は大隈重信さんの目線の高さと
建学の母であった小野梓先生の
現実的な、日本を本当に近代国
家に変えていくための地に足の
着いた低い目線、これを私はよ

く「Bird's eye 鳥の目、Worm's
eye 虫の目」といつているん
ですが、この二つをミックスした
ところに早稲田大学の志がある
んだと。

他方、目線の高い大隈さんを
慕って全国津々浦々からムシロ
旗を押し立てて集まってきた若
者の熱気がありました。そうし
た渦巻く熱気がうまくミックス
して早稲田大学は出発しました。
まさにグローバルな目線とロー
カルな魂、地方の人がもつてい

る生活力、行動力の逞しさがよ
く融合して早稲田大学ができた。

ヨーロッパの人々が「グロー
カル」を盛んに口にするようにな
ったのは、グローバルイゼイシ
ョンを志向する世界の流れのな
かでEUをつくり、十一カ国に
よる大きな単一市場ができた。

ところがこんどは逆に、それぞ
れの加盟国がどうやって自国の
アイデンティティを確保するか、
どのようにして民族の誇りや心
意気を示すか、グローバルな時
代においてこそ、ローカルなも
のが大事だということに気がつ
いたからです。

大隈さんは百十六年前にす
でにこのことが頭のなかにあった
ようです。そこで、私としては
早稲田大学の原点回帰のために
スローガンとして「グローバル」
が必要であると考えました。

——「グローバル・ユニバー
シティ」の新しい施策として三
つの柱を打ち出していらつしや
いますね。

奥島総長 はい、まず「アジ
ア太平洋志向」ですが、ここで
は独立の大学院を設立しました。
明治初期、福沢諭吉さんが「脱
亜入欧」を主張された。しかし
大隈さんはちょうど逆に、アジ
ア地域を重視し、つねづね「東
西文明の調和」を強調されまし
た。

また小野梓先生は「南北の経済格差を何とかしなければならん」と主張され、日本の近代化だけでなく、アジアの近代化を考えました。実際、早稲田大学は日露戦争の最中から終わりにかけて中国人だけでも毎年約一千人の留学生を招いています。それほどですからアジアで日本の大学といえは早稲田であり、アジアにおける早稲田の名前は赫々たるものがあつたわけですから、そこがいま、それがほとんどなくなっている。私たちの先人が築き上げたものをしっかりと受け継ぐためにはアジア太平洋を中心とした学問と教育を深めていくことに焦点を合わせなければならぬ。

新しい大学院は大変な人気ですが、ただ現在のアドバンテージを、この先どう確保していくかは非常に難しい問題です。早速、文部省が国立で類似した大学院をつくらうとしている。日大も今年発足を決めている。他の大学も同じ戦列に加わってくる。それらとの競争になるので、いまもっているアドバンテージを十分生かして進んでいかねばならないと思っております。

——三本の柱の二番目は「メディア・ネットワークの構築」ということですね。

奥島総長 早稲田の伝統のなかから私が抽出した「高度情報

化志向」から生まれたのがそれです。ご存知の通り、早稲田はマスコミの領域において圧倒的な地位を占めています。ところが現在、早稲田大学は広い意味での情報に関する学問の拠点をもっていない。かつて政治経済学部新聞学がございましたが潰してしまつた。何ということをしたのかと、まことに残念至極です。

早稲田大学がずっとマスコミに力を持っていたのは、これもやはり大隈さんの考え方が元

『早稲田大学全体の生涯学習機関化をめざします』



聞き手の柴田征子さん

いまの読売新聞です。

そのころ、早稲田大学は日本で最も世界の情報が集まるとこ

あつて、当時の明治政府は上から国民を教化しよう、あるいは政府についてこいという姿勢でした。これでは近代化はできない。近代社会、民主主義社会には下からの庶民の盛り上がりこそなくてはならない。そこで大隈さんは情報の共有化、みんな同じ情報をもつて、みんなが判断する。政府だけが情報をもつて小出しに国民に与えていくのではなく、民主国家をつくるためには民衆が情報を共有化することが欠かせない。そのため大隈さんは報知新聞を刊行された。

ろだった。世界の道は早稲田に通ず」といわれたほどです。大隈さんのもとに世界中から人々や情報が集まつた。大隈さんが話をすると、早稲田の教授たちがきら星のごとく並んで耳を傾けていた。そういうキャンパスをもう一度作ろうではないか。コンピュータ・サイエンスからマスコミ文化論に至るまで情報に関することはすべて早稲田大学にいれば研究することができるようにした。

現在、早稲田大学には五千人

の教職員と五万人の学生がいまですが、学内には一万台のパソコンがあります。情報環境としては日本一よく整備されています。少なくとも現時点では、日本国内でこれだけの情報環境をもつたところはないと自負しています。しかし、これだけではいけない。研究体制を十分整えなければ、ということ。昨年六月「国際情報通信研究センター」を新たに設置しました。今年文部省に申請し、来年には新しい大学院ができます。ここにアジ

ア太平洋地域の学生も集めて、大規模な大学院として情報の研究、教育を始める予定です。

——早稲田大学は生涯学習にも力を入れておられます。

奥島総長 早稲田大学全体を「生涯学習機関化志向」で改革したいと思ひます。

というのも生涯学習にわが国で最初に取り組んだのは早稲田大学でした。昭和十年代、男女共学を大学として日本最初に実施しています。また明治二十一年に「早稲田講義録」の発行を始め、受講者は実に通算二百七

十万人に達しました。早稲田の卒業生が明治十六年の第一期から数えて四十六万人に過ぎないことを考えると、いかに早稲田がエクステンション制度によって大衆の知的レベルを上げることには貢献してきたかが分かると思ひます。

戦前の日本の社会は人生五十年を基本にして社会システムができていました。平均年齢では男四十七歳、女四十九歳でした。単に戦争のためばかりでなく、非常に短命だった。だから役所や会社の定年も五十五歳で十分だった。しかも大学卒の年齢は現在より二年ほど遅かったのです。こういう時代だから大学の入試は一発勝負、就職試験も一発勝負。やり直しのきかないトーナメント戦。しかしそれで当時の社会システムとびつたり合っていたわけですから、ところが人生八十年の今日でもトーナメント型のシステムが続いているというのはどうしたことでしょう。それでは人生八十年の現在、十八歳で大学入試の一発勝負、二十二歳で入社試験の一発勝負。それで人生終わりということになる。それでよいのか。

アメリカ社会にはアメリカンドリームがありますが、それなりの社会システムをもっている。アメリカの大学生の四八％は三十歳を越えている。四十年代、

五十代も大勢います。日本では二十五歳を越えているのは数%ですが、アメリカは敗者復活戦がいくらでもできる。人生、チャンスがいっぱいある。

大隈さんは大した慧眼だと思えますが、人生長くなれば長くなるほど勉強していかねばならぬとエクステンション制度を考えられた。明治時代に日本最大のエクステンション教育事業をしていたのです。これを私たちが継承して、いま大隈講堂の横に新しい校舎を整備しています。そこに大々的なエクステンションセンターを開設します。

同時に、学部を昼夜開講制にして、社会人がどんどん受講できるようにしたい。昨年十月から、夜間学部だった社会科学部を昼夜開講学部に移し替えました。社会科学大学院は夜間大学院ですし、法学研究科、理工学研究科の大学院は昼夜双方で開講して、社会人を大幅に入れていきます。

日本の大学では、まだまだ社会人対応は例外的にやっている段階です。社会人が学生の中心であり、半数の学生は社会人たちというアメリカの大学のありようからは程遠い。十八歳で高校を卒業して一年以内に頭に残っているものでしか受験できないという入試制度では、日本の大学はいつまでたってもアメリカ

カのような大学になることはできません。そこで、早稲田大学では入試改革に抜本的に取り組みつもりです。

アメリカの大学に活気があるのは十八歳から四十、五十の人間たちがいる。人生のバックグラウンドの、まるで違う人たちがいる。そのほうが教育効果が上がります。そのほうが教育効果は上がります。ドングリを集めているところでは教育効果は上がりません。例えばハーバード大学では高校の一番ばかりを集めているのではない。十番、二十番



『革マル派を養うための 早稲田大学祭はありません』

五十番も入れている。このほうがお互い刺激があつて教育効果が上がる。一番ばかりでは社会

資源の無駄、と考える。たしかにヨーロッパにはエリート校がありますが、しかし一学年にせいぜい三百人までしか入れない。東大のようにトップばかり一学年三千人、四千人集めていては絶対にいい教育はできない。資源の無駄づかいだと思います。

早稲田大学では九十一年前に商学部を新設しました。そのとき志望者を全部入れました。それから早稲田の学生数は大きく増えたわけですが、学生のレベルは下がらなかった。また戦時

あるんです。「それは不公平ですよ」と反論されましたけどね。「早稲田に入った。おいしいから何かやるぞ」。そういう学生はいま二〇%ほどしかいない。これを五〇%にはしたい。早稲田にふさわしい人間を採って、しっかり鍛えて一人ひとりが一騎当千の立派な若者に育つてもらう。二〇二〇年になるとわが国では三人で一人の高齢者を養わなければならない。税金は、いまの三倍、社会保障費も三倍。そこで生き抜くためには科学技

って卒業生は心配しています。今後の復活についてお話しいただけますか。

中に体力検査だけで入学させた年もありました。やはりレベルは変わらなかった。人間の能力をたつたペーパーテストひとつの偏差値で計るといふのはおかしい。教員の思い上がりです。総合的な能力をみて多様な人材を入れる。トップが集まる大学へいけなかったから早稲田へきた、早稲田にくるようじゃオレの人生終わりだというような「負け犬」などきてもらう必要はない。だから私は「入試の成績の上の方はカットして入れないようにしよう」といったことが

術創造立国に一騎当千の人材が取り組まなくてはならない。一方、現代は六十歳ほどでリタイアする時代ではありません。一生を生きがいのある仕事を持ち、世の中のために貢献する。これからは老化ではなく、ハッピーエイジング、加齢。それぞれの人がそれぞれの年齢で、もっている社会的経験、知識をうまく社会に還元してゆく。眠らせている人的資源を活用して少子化時代を克服する。その意味でも生涯教育が大切になります。

——早稲田大学祭が中止になつて卒業生は心配しています。今後の復活についてお話しいただけますか。

奥島総長 復活には異論ありません。しかし革マル主導の早稲田祭は絶対許さない。これははっきりしています。実に三十年近くの長期にわたって大学は脅迫され暴力をふるわれ、屈辱の日々を過ごしてきました。早稲田祭では教員でもプログラムを買わないと学内に入れない。十年前から入れるようになりましたが、それは大学側が教員のプログラムを一括して買い上げ一人ひとりに配布したからです。こんなバカな話がありますか。

革マル派と共存するために、大学側はどんどん彼らにカネを出した。学生のサークルに対する補助金も一部彼らに流れました。要するに革マルが早稲田大学を食いものにした。裏では学生たちが泣かされ、教員が脅され続けた。私が法学部長時代には、革マルが試験を妨害した。革マルといっても四十代、五十代のおじさんたちが五、六十人、マイクをもって教室に入り込み、「お前たち、試験をやめろ！」と叫ぶ。教員が立ち上がった肉弾で彼らを排除しましたが、大学本部はまるで動けなかった。長年、全然戦おうとしなかった歴代の先輩教授にも大いに不満があります。

(4頁に続く)

蕪村の「菜の花や月は東に日は西に」という句を知ったのは、中学二年の時、国語の教科書にのっていたのだ。読んでわたしはその光景を思い描いた。

——道をはさんで両側に、菜の花畑がはてもなく広がり、遠くに低い山なみが霞んでい。西の山の端に、いま落日がとどこうとしている。折りから東の空には、菜の花の中から浮かびでるようにして、まん丸い月が昇ってきている——

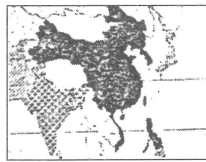
菜の花畑はなぜか視野の限りに広がっているのだければならなかった。月はなぜか満月でなければならなかった。そう思い込んでしまったのである。「いちめんの菜の花」ということを十行も二十行も並べたのは、山村暮鳥だっただろうか。

ところが、それから何年たっても、夕日と満月が同時にみられる光景には、とお目にかからなかった。わたしの住む風土では、そもそもそういう現象が無理であるらしかった。もちろん、都会のビル谷間では見られるはずがない。蕪村の足取りを辿っても、京都、大阪、丹波、丹後（与謝村はわたしの郷里の隣村であり、「夏川を越すうれし

さよ手にわらじ」と詠んだ野田川は、わたしも泳いだ川である）いずれの地方も山が多く、はてなく広がる畑も、日月二円の同時滞空も、思いかなわぬ夢でしかない。考えてみれば、月は半月でも三日月でもよいのだし、菜の花だって、一反二反の畑が散在する

月は東に 日は西に

杉本 達夫



のであつていつこうに差し支えはない。むしろそうであつてこそ、日本の光景というもののだろう。小学唱歌「おぼろ月夜」だって「菜の花畑に入り日すれ：夕月かかりて匂いあわし」とうたうあの歌詞は、信州のせまい谷間の村で作られているのだし。少年の日に

なぜあんな思いこみをしたのだろう。せまい盆地の山あい、で過すうちに、平原への憧れが芽生えていたのだろうか。さてそれから約三十年後の夏、北京在住の折りに内モンゴルの大草原を訪れた。大草原というのは、いわばなだらかな丘陵地帯であつて、大地の起伏が多いのが意外だった。おまけに空気中に羊のにおいが充満していて、これは逃れるすべがなく閉口した。草もびっしり生えているわけではなく、その年は雨が不足とかで、老人の頭髮のように、些かわびしい生えぐあいだった。それはともかく、夕方、水場に馬が集まってくる。水を飲んで馬の四肢のむこうに、なおぎらぎらと燃えながら、夕日がゆつくり沈んで行く。振り返ると東の空には、満月がぼつかりと浮かび上がつていた。夕日と満月が東西に向き合う光景がそこはあつた。菜の花こそなかったけれど、少年の日に思い描いた光景が、現実のものとして目の前にあつた。わたしは西に東に首を回しながら、ひとり感慨にふけていた。あるいは各地で見られる光景なのかもしれない。なにしろ大陸は広大無辺なのである。

（文学部教授）

いま何人かの一般の学生が自主的に早稲田祭復活に動こうとしています。全員、革マルに脅されている、といわれています。

『東久留米稲門会の活動に敬意を表します』

敬意を表します

——最後に東久留米稲門会の会員を含めて卒業生のみなさんへのご要望をお話ください。

奥島総長 「早稲田大学は心のふるさと」といいますね。しかし、ふるさとは遠きにありて思うもの、であつてはちよつと困るのです。長い人生を考える卒業生の方々はみんな早稲田に無試験で帰ってきて、もう一度世の中にチャレンジするため、学習なり研究なりに取り組んでいただきたい。早稲田は卒

す。こういう状況では復活はありえません。彼らが仕切り、彼らを養うための早稲田大学祭はない、ということです。

最後の教育についても一生保証します、というようになりたい。ワセダファミリーは「生涯学習共同体」です。ぜひお互い助け合い、鍛え合っていきましょう。

今年五年目を迎えられた東久留米稲門会のみなさんが、つねづね充実した活動が続けておられることに敬意を表します。こうした早稲田大学の応援団が、あちらにもこちらにも頑張っておられるということは私たちにとって大変心強いことです。母校の施設を利用する場合でも個人ではなかなか利用しにくいというところがなきにしもあらずですが、稲門会のように団体となりますとそれがしやすくなると思います。大いに早稲田大学という「場」を活用していただいて、地域を、日本を、そしてまた世界を活性化させるような「生涯学習共同体」を育成したいと思ひます。どうかみなさんによりしくお伝えください。

——本日はお忙しいなかを、本当にありがとうございます。





和二十六年第一理工学部
に入学と同時に、大隈講

堂前の運動部募集の中のヨット部に入部しました。横浜で生まれ子供の時から海と共に育った私は海が大好きでした。左の写真は昭和二十九年五月一日の早慶戦の時のものです。毎年五月初旬に早慶戦が行われます。

困難に自ら進んで立ち向かい、フェアプレイの精神で事に当たり、自分だけでなく人のために尽くす精神です。この精神は私の人生で、どんな時でも心の支えになり、いつでもどこでも明るく楽しく行動できる力になりました。早稲田のヨット部で生活したことは今でも誇りに思っています。

さて、当時のヨット部生活に触れてみます。入部と同時に春の合宿がありました。昭和二十六年はまだお米の配給制度が残っており、合宿には配給された

わが早稲田時代

たたき込まれた「潮気」 いまも現役、ウラジオまで帆走

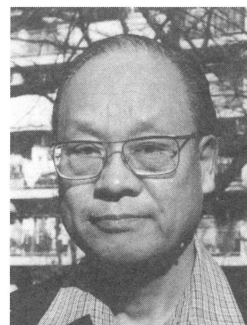


鈴木 賢太郎

いわれる seamanship です。レース中であっても沈没艇など人命に危険が起ければ競争相手といえども助けねばなりません。早稲田では、新人合宿の時に徹底してたたき込む言葉に「潮気（しおけ）」があります。これは

お米を持つていくか、お米を外食券に変えてもっていかないと主食は食べられませんでした。

ました。早稲田の練習は新人の時から激しく、いくら風が強くて休まず沈没艇が出ても続行され鍛えられました。横浜での通常の練習日に各大学が練習できないような強風の時でも早稲田だけはやりました。これは海に出た時、どんなに海がしけても安全に帰航できる力と自信をつけるのに役立ちます。先年有名なヨットマン（アメリカズカップ ニッポン チャレンジの）難波氏が外洋レース中に落水し



現在の鈴木賢太郎氏

て死亡しました。彼はひどいしけに会い、艇長という責任感から自分が舵をとっていて落水したといわれていますが、これは大変なことです。ヨットは暴風に会っても、しっかりと訓練と精神力があればエンジンのついたモーターボートより遙かに安全で楽しいものです。

私は六十七歳を過ぎましたが、まだ元気でセーリングを楽しんでいます。三年前には新潟西港からロシアのウラジオストクまでのクルージングと国際レースを楽しみました。

また当時の学生ヨットにA級ディンギイというヨットがありましたが近年早稲田OBが復元して全国大会が開けるようになりました。昨年は早稲田が優勝しました。参加者の平均年齢は六十五歳を越えていましたが、みな元気一杯。昨秋には、大学とヨット部OBが協力して二十人乗りのクルーザー（二台目になります）を購入しました。艇の名は「

稲

魂・Wasada Spirit」。命名と揮毫は奥島総長からいただきました。機会がありましたら皆さんにもヨットの楽しさを体験していただきたく思っています。早稲田の「潮気」のあるOBが同乗しますので安心してお楽しみいただけると信じております。



早大時代、セーリング中の鈴木氏（鉢巻）

（昭30理工）

川魚・活魚・ふぐ料理

クラス会・ご法要
各種ご宴会
5名様より100名様まで
承ります

活魚
割烹

浜波

東京都東久留米市本町2-2-17
TEL 0424-73-1001
74-4551

小回りの利く
スピーディーな「街の印刷店」

清文堂印刷所

東久留米市滝山5-1-4
TEL 74-1787

知る・消す・逃るのお手伝い

各種消防設備設計・施工・保守・消防防災用品全般
建設業許可番号 東京都知事許可（般一8）第84897号

ABC消火器

■ミヤタABC消火器

保守検査（契約）はぜひ
消防設備士・点検資格者のいる
当社へどうぞ

株式会社 カナメ商事

東京都東久留米市幸町3丁目10番26号
TEL 0424 (71) 2479 (代)
FAX 0424 (71) 3246

東久留米最強の進学塾

『めんどうみ』の良い指導で
今年も 飛躍的な合格実績を
約束します

東久留米駅 西口下車すぐ



早稲田アカデミー

東久留米校
☎0424 (74) 5301

盛況！ 早大グリークラブ演奏会

奮戦しました
「シロウト呼び屋」

閉幕前、満員の観客が早稲田大学グリークラブの精鋭三十名と「赤とんぼ」の大合唱を終えた時は、安宅会長をはじめ実行委員二十六名は、言い知れぬ感動、やったという達成感、安堵感をかみしめていた。

平成九年四月の東久留米稲門会第三回通常総会で、市民文化交流活動の一環として「早稲田

大学グリークラブ演奏会」を翌十年秋開催することを決定、幹

事会を中心にその準備に入った。ところが、誰も演奏会開催に携わった経験がなく、どこから手掛けたら良いやらわからなかった。とりあえずグリークラブと接触をもつてみようというクラブ事務局に電話を入れ、出演料と十年秋の都合のいい日を聞き出した。これに基づき幹事会で実施要綱を決め、市立中央公民館大ホールの使用を開催予定日、十月四日で首尾よく予約に成功した。しかもこの日、市民コーラスグループの女性から声を掛けられ、市合唱連盟の役員を紹介してもらったことになった。お陰で間もなく「コール・ヴェール」と「東久留米混声合唱団」の賛助出演が決まった。



満場を魅了した早大グリークラブの演奏

平成十年四月の第四回通常総会後、幹事会と女性サークルの構成による実行委員会を結成。当稲門会予算からこの事業への支援金十五万円の計上も決まった。が、実行委では赤字を避けるために広告掲載料を含めた収支計画を立てた。また

大学グリークラブ演奏会」

グリークラブ出演者を三十名に絞り、チケット代金を一枚千円に決めた。

一方、市や社会福祉協議会、市合唱連盟の後援を取り付け市民文化交流事業としての形を整えた。プログラムへの広告掲載交渉は西武鉄道からの入稿が決まったことで弾みがつき、大企業や病院などの出稿が続々決まった。その頃実行委の活動も俄然熱気を帯び、市内各所にポスター貼り、リーフレット配布。チケットは稲門会会員のほか賛助出演のコーラスグループの全面協力もあり目標数以上に捌け、無料招待者分を含めると立ち見客が出るのではないかと心配されるほどだった。実行委員会の開催は合計七回に及んだ。

当日、実行委員は午前九時に集合、開催準備に。演奏会は午後一時三十分開始、心配していた立ち見客は少数出ただけで、予定通り四時、盛況のうちに終演した。その後グリークラブ、コーラスグループを交えた打上げ会には百名以上が集まった。収支はチケット販売も広告収入も順調で、若干の剰余金が出た。うち五万円を社会福祉協議会に寄付、有終の美を飾った。多くの関係先の協力に支えられたイベントであり、稲門会会員の底知れぬ結束力に感嘆した手作りのイベントであった（帆角信美）

母校に帰った日

女性サークルが
早大ツアー

女性サークル部会は五月十七日第二回オール早稲田文化週間に母校のキャンパスツアーに参加した。

学生のガイドで商学部、法学



望に満ちあふれていた。ちなみに早稲田カードがあるという図書館に入館できる。参加者は女性サークルの部会員、男性会員、家族も含め総勢十二名だった（石寺美弥子）

◆昨年四月東工大から埼玉大に移り留学生教育に従事しています。一方、東久留米国際友好クラブ日本語教室のコーディネーターも山本一男（昭37政経）◆昨年八月結婚しました。誰もが気軽に訪問できる楽しい家庭を築きたいと思います。呉淳久（昭60教）◆今年も書道部会で頑張ります。馬場深雪（昭58文）◆昨年勤務先のポストが変更になりました。勝村建設（東証一部）代表取締役副社長へ（前代表取締役専務）市川英雄（昭33政経）◆現在、通信社のアンカーマンをしています。日比野利彦（昭55政経）◆転勤で昨年十一月、大阪から東久留米に戻ってきました。千葉智幸（平一商）◆損保代理店を会員とする日本損害保険業協会では昨年十月「日本代協保険大学」を開講、消費者から信頼される代理店を目指しています。和田正美（昭36政経）◆今年は古稀を過ぎた年男となりますが恙なく過ごしています。小野塚博（昭26商）◆群馬県下仁田町に単身赴任し高速道路のトンネル工事に従事しています。高橋浩（昭57理工）◆一月二十三日小生の最終講義を行いました。榎本隆司（教育学部教授）◆「日は好日」です。坂本信太郎（名誉教授）◆地方園芸農家としての仕事をやっています。皆さん、結構元気なので驚いています。馬上義弘（昭35商）◆当会の囲碁部会、書道部会など大変ありがたい、老後の生活に役立って

近況・僅況



東稲俳壇

平林寺吟行

楼門の陰広がりて秋の寺

紅葉の一木ありて華ぎぬ

橘雅契(正治)・昭29文

吟行の句帳にはさむ初紅葉

落葉径業平塚へ道細る

剥落の仁王すつくと秋ふかし

太田蔵之助(千雪)・昭29商

鶴飛び斎座を知らず鐘の音に

(ひよとりと昼食と鐘の音)

桔界はいよいよ厳し秋深く

(冬へ向い修行を思いやり)

山茶花の散華に似たり花の散る

安宅武一・昭28商

白障子禅堂の気魄閉じており

坂本信太郎・名誉教授

艶めきて古刹の池に散る紅葉

もののふもいつか来た径草紅葉

比護喜一郎・昭37商

個人戦で森本氏、優勝

団体戦も制す

三多摩稲門ゴルフ会

昨年九月、三多摩稲門会連合会会長会で決まった三多摩稲門会懇親ゴルフ会が十一月十八日桜ヶ丘カントリークラブで開かれた。

競技方法は十八ホールズストロークプレイ(新ペリア方式)で各稲門会から四名出席し上位三名のネットスコアの合計で順位を決める団体戦と個人戦。当

身に入むや参る人なき古き墓
そぞろ寒四時には閉ざす平林寺

本間信一・昭24理工

禅寺に色無き風の吹きにけり

秋の日に丈山の額凛と映ゆ

(本堂の内の丈山額の古さと秋日)

大川洋子・昭29文

秋晴れや知恵伊豆の墓静かなり

(松平伊豆守の墓で感無量)

高橋貞一・昭26法

チチロ鳴く由緒正しき平林寺

(こほろぎと歴史ある寺の情緒)

馬場清彦・昭28法

天高く座して熊笹古刹かな

棚野愛子・昭34文

★俳句部会は、昨十月三十一日平林寺へ初の吟行会。三年間の遊学の成果をお届けします。

(橘 正治)

会からはゴルフ部の太田、白石荒川の三氏に私が参加した。

当日は朝から快晴、無風。絶好のゴルフ日和で、参加十五チ

ーム、総勢六十名はアウト、インの二コースに分かれ順次スタート。私たちのチームは武蔵野、多摩、小金井の人

たちと初顔合わせでしばらく緊張気味のプレイを続けていたが、気さく

なキャディさんの仲介もあり、徐々に打ち解けてきた

総長杯を手に喜びの森本氏



民宿で総当たり戦

囲碁部会

囲碁部会(部会員十三名)の

毎月の例会は中央公民館で開かれ、活況を呈している。毎回の自由対局、半年毎のリーグ戦に成績優秀者は昇格と言うことで互いに刺激を与え合うようになっている。

九月には千葉県岩井の「囲碁民宿しが」で合宿、午後一時から総当たり戦を行った。夕食の

ようで、午後のプレイはすつかりリラックスした雰囲気の中で終わった。

入浴後みなパーティ会場に集合したが、出席者が一層交流を深めるようにと組合わせのメンバーで座るよう案内した幹事の心遣いには感心させられた。ビールを飲み交わしていると成績表が配布され、その一番上に森本と、自分の名前を見た時は本当に驚いた。間もなく名前を呼ばれ奥島総長杯を手渡され、初めて優勝の実感が湧いてきた。

(森本博文)

海の幸に舌鼓を打ち、「いかにしたら棋力が向上するか」をテーマにしばし論争、午後十時、大会は藤田氏の全勝優勝で閉幕した。

十二月例会後は「うどん亭なべきち」で忘年会。

現在、部員の半数が有段者。近く西村、藤田、武藤、森本、酒井の諸氏による初段レースがあり、部会発足時は初心者同様だった泉、井田の両氏も実力を伸ばしてきた。(安藤信雄)

ちなみに私のスコアはグロス八七。今回、幸運にも恵まれ、団体戦、個人戦ともわれわれ東久留米が優勝することができた。しかし今にして思えば早稲田大学を卒業して多くのよき同窓生と交流、親睦を図ることができたという見えざる財産を得た喜びこそ、もつと素晴らしいこと。懇親ゴルフ会の幹事の方々に謝意を申し上げ、併せて次回の幹事として頑張ろうとの思いで一杯だ。

佐々木東洋氏(昭10専政)

平成10年5月4日逝去

大内臣男氏(昭19理工)

平成10年5月23日逝去

■会員一同、謹んで心から哀悼の意を表します。

います―深沢政次(昭28政経)◆書道部会に入会し書への興味が倍增してきました―福田稔(昭37政経)◆私の勤務する高等学院でも少子化のなかで、より意欲のある生徒が選出できるよう種々の入試方法を工夫しています―山口道成(昭32理工)◆東久留米市ラジオ体操連盟会長としてラジオ体操の普及に努めています。市内5カ所では毎朝6時10分から40分間中国のラジオ体操と中国の医療体操を合わせてやっています。皆さんも近くの会場に、乞参加―芝原栄(昭32法)◆今年は年男で満六十歳になり会社を卒業する予定です―高井章夫(昭38理工)◆昨年定年退職。私と四歳違いの弟の嫁さんが昨年早稲田の政経に入学、逢うたびに「早稲田はいい大学だ、素晴らしい大学だ」と話しています―上原徹也(昭40商)◆最近ハワイ、香港に続き昨年は釧路湿原と三宅島へ探鳥に。三宅固有のアカコッコやカラスバトなどに逢つてきました―荒川正行(昭35商研)◆昨年は四十社の顧問会社を駆け回りその間五十回ぐらい講演。今よく売れている私の本は大学生向けの「面接の大原則」です―酒井正敬(昭56文)◆昨年度合格および受賞は①実用英語技能検定3級合格②優良運転者で警視庁交通部長賞受賞―平岡正澄(昭36法)◆今年二月成美教育文化会館で開かれたハーマニカコンサート支援で走り回りましたが一般のハーマニカへの関心がイマイチで苦勞しました―岡田啓里(昭37文)

平成11年度 事業計画(案)

- 一、五周年を意義ある年に
☆奥島総長とのインタビュ
ーで会報「杜の西北」第
五号の巻頭を飾る。
☆各部会で意義ある催しを。
特に女性部、山歩き会に
期待する。
- ☆「文化講演シリーズ」第
二号の発行。
- 二、組織の強化を図る
☆第五回通常総会を機会に
新会員の増加を図る。
☆文化講演会を催し、市民
へも開放する。
- ☆総会に新入生を招待する。
三、大学との関係を一層密に

近隣との交流、活発化

平成10年度 事業報告

【行事】

▼1・24新年宴会。割烹浜波。参加
60名▼4・19第4回定時総会。来賓
学校関係者、近隣稲門会等計8名、
会員69名出席。瀬古利彦エスピー食
品陸上部監督を講師に講演会。一般
市民参加、プラザホール満杯に▼幹
事、役員会。2・4、6、8、10、
12月の6回開催▼8・8の納涼懇親
会。成美教育文化会館。参加会員50
名▼10・4早大グリークラブ演奏会。
中央公民館ホール50席を満席にする
盛況。

【広報】

▼「東稲通信」ハガキ通信。1月新
年号、4・7、10月の4回発行▼3
・1「杜の西北」第4号発行▼6・
29「会員名簿」発送。収録会員数155
名。

【サークル活動】

▼ゴルフ部会(部会員43) 5・13第
7回コンペ参加12名。児玉G.C. ☆
10・28第8回コンペ参加17名。高崎

サンコーCCC▼囲碁部会(部会員13)
毎月例会。☆10・30千葉県岩井「囲
碁民宿しが」で合宿研修。参加10名。
▼俳句部会(部会員15) 隔月句会。
☆10・31平林寺吟行会。参加14名▼
山歩き部会(部会員は全会員) 6・
13八国山散策と花菖蒲鑑賞会。東村
山稲門会と合同開催予定も雨天中止
▼女性サークル部会(部会員15) 隔
月集会。☆5・17オール早稲田文化
週間参加。キャンパスツアー企画。
参加12名。▼書道部会(部会員26)
毎月原則第2日曜勉強会。

【近隣稲門会との交流】

9・25武蔵野稲門会総会☆10・31小
平稲門会総会☆11・8東村山稲門会
総会☆11・15清瀬稲門会総会☆11・
18三多摩稲門会連合会ゴルフコンペ
参加。当会は団体戦で優勝。個人戦
でも森本博文副会長が優勝。
【大学・校友会関係の活動】
7・3校友会臨時代議員会に参加☆
8・6三多摩稲門会連合会を通して
大学へ3万円寄付☆10・1代議員会
に参加☆10・25ホームカミングデー
校友大会に参加。福引抽選券19枚販
売。

支出の部		収入の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
総 会 費	374,817	総 会 収 入	331,000
通 信 費	188,345	(68名×5,000)	
印 刷 費	91,375	年 会 費	465,000
消 耗 品 費	21,012	(155名×3,000)	
会 議 費	18,580	祝 金	40,000
交 際 費	75,000	校友会補助金	100,000
部会補助金	40,000	広 告 収 入	55,000
「杜の西北」印刷費	85,050	グリークラブ	
講演録印刷費	78,750	演奏収益金	65,047
弔 慰 金	30,000	講演録収益金	63,600
寄付金(大学)	30,000	利 息	129
雑 費	4,853	雑 収 入	36,791
積 立 金	100,000	前期繰越金	235,088
繰 越 金	253,873		
合 計	1,391,655	合 計	1,391,655

事務局だより

研究員を務めました。その後英
国最大のスーパーチェーン、マ
ークス&スペンサーの当主と結
婚、英国籍と男爵夫人の称号を
もっています。現在、秀明大学
教授。著書「ひ弱な男とフワフ
ワした女の国日本」とんでもな
い母親と情けない男の国日本」
はベストセラーになっています。
講演後、当稲門会の第五回定
時総会を開会いたします。

☆文化講演シリーズ第2号は瀬
古利彦・エスピー食品陸上部監
督の「心で走れ」。実費二百円で
す。第1号の日比野弘・現早大
ラグビー部監督の「ラグビーに
学ぶチームワークとリーダーシ
ップ」と合わせてご購入くださ
い。☆本年度会計より苦しい財
政下ですが、不時の出費に備え
積立を行うことを決めました。

ポケットパーク

▼昨年二月、十八年ぶりにニュー
ヨークに往きました。国際結婚し
てマンハッタンに住む従妹の家に
転がり込み昼は美術館で食事、夜
はオペラ、バレエ、ミュージカル
あつという間に一月がたち本当
に良い充電になりました(石寺)
▼拙歌一首「喜びは堂に満ちたる
観客と総長に響められし「杜の西
北」(M・E)▼ここ数年、桜の季節が近づ
いてくるとワクワクする一方、あつ何回お
花見ができるかなという思いも強くなつて
きました(Y・K)▼入会して2年、お陰
で人生経験豊富な方々にめぐり会い交友関
係も広がりが豊かな人生に感謝。春、早大キ
ャンパス・ツアーへ参加、日頃疎遠になつ
た大学でも当時の気分になれるのが不思議。
大隈講堂にそびえる時計台に上がりネジを
回して感激しました。只今、演播で日本演
劇史上最大の歌舞伎界の巨匠中村歌右衛門
展が開催中。観るに値するものです。(棚野)
▼今回「近況僅況」欄が広がった。これで
会員相互の親密さが増すに違いない。一号
から皆趣きが違うのが「杜の西北」のよい
ところだ(F・H)▼ツヴァル友好協会に
入会し南太平洋諸国から来日している研修
生たちと交流しています。皆、祖国のエリ
ートですが意外にも素朴で控え目な
人が多いです(キョン)▼冬になると庭先
のエサ台にスズメやメジロ、シジュウカラ
などが集まって大賑わい。先日は通りがかり
のお年寄りに「いつも小鳥がたくさんき
ていて、楽しいですね」と声を掛けられて
した。道行く人にも楽しんでもらっている
のをうれしく思い、いつまでも小鳥たちが
安心して暮らせる町であってほしいと願っ
ています(GAO)

「杜の西北」第5号

1999年3月 発行
発行人 安宅 武一
編集人 国米家己三
編集委員 石寺美弥子 栄田 征子
大川 洋子 河村 洋子
棚野 愛子 菱山 房子
山岡 恭子 山下香緒里
事務局長 高橋勲 76・5432
印刷所 清文堂 74・11787



売れっ子、
マークス寿子さん
の講演会
4月18日 成美会館で

辛口の評論家ですが、いま売
れっ子のマークス寿子さんが当
稲門会の招きで、来る四月十八
日午後二時から成美教育文化会
館大ホール(東本町八の十四)
で講演をします。演題は「二十
一世紀を迎えるに当たって い
まいギリスに何を学ぶか」。
マークスさんは早大政治経済
学部卒。都立大法学部博士課程
終了後、渡英。ロンドン大学の